

たまき塾通信 2015.12月号

いよいよ年の瀬です。一年が経つのがあ、という間の気が致します。皆さんにとってどんな一年だったのでしょうか。子どもの時、大人が皆、一年が早い、早いというのが信じられないと思っていました。きっと皆さんにとってたくさんの感動、楽にあふれる毎日とても充実した日々だと思います。

ニュースではノベル賞の受賞式の様子が伝えられています。医学・生理学賞を受賞された大村^{こし}智先生は、こんな風に話されています。「お金を残す人生は^け下、仕事を残す人生は^{ちやう}中、人を残すの^いが上だ。」人を残す、たくさんの教え子がいられた！定時制高校で教えていた時の教え子の学業^{がめい}に感謝を受けて、「^い教え子からたくさんのことを学んだ。」ともおっしゃっています。

私はそれを聞いて私もとても幸せな^{さあ}環境だと思えました。私と一緒に過ごし一緒に成長していく皆さんのこの社会でどんな風に活躍してくれるの、楽しみで、一緒に感動することも楽しみ。そして皆さんからたくさん学んで私も充実した人生を送りたいと思います。大村先生は「誠意^{せい}を尽くし、人の痛みを感じられれば何事も成功する」とも話されました。心に^{きこ}刻み込むものですよ。ところで、私は本を読むのが大好きで、至福^{しふく}の一時^{ひとき}なのですよ。

最近 NHKの朝の連続ドラマ「あさみ草」の原案となった小説『^{こまほり}工佐堀川』を読んで、く、く、言葉がたてこえたりしました。

「負けたことのよい人生で面白いやよいや。勝つては^{しれん}おもしろいという人の心^{こゝろ}が^{おまん}面白いようになる。神様^{かみさま}のくれた^{しれん}試練^{しれん}や思うて、今は我慢^{まん}せよあかん。」 「勝つてはあかん、負けた人生は^{まい}惨めや。

負けたらあかん、他人やよい、自分にや。」耳に^{みみ}は^いじん^にく^ん西^{せい}守^{まも}、大阪^{おさか}の^{りやう}両替商^{りやう}、加島屋^{かしま}に嫁^{よめ}ぎ 実業家^{じつぎや}として大成^{たいせい}し、日本初の女子大学の開設^{いんげつ}に^{しやう}尽力^{しんりき}した^{しやう}広岡^{ひろおか}浅子^{あさこ}さんの生涯^{しやうがい}です。失敗^{しがい}すること^{こと}人の心^{こゝろ}が^い分^わかり、自分に負け^{まけ}ない^{こと}を^い守^{まも}る。負けることは次^{つぎ}を^い考^{かん}える^{こと}チャンス、改善^{かいぜん}する^{こと}チャンス、本当にどうぞと思います。

たまき塾の卒業生もそれぞれの進路に進んでいます。やはり小学生、中学生の時^{とき}に^い思^{おも}っていた^{こと}道^{みち}を^い選^えぶ^{こと}人^{ひと}が^い多^{おほ}い^{こと}な^{こと}な^{こと}り^{こと}です。

負ける、うまい^{うまい}やよいは人の痛み^{いたみ}が^い感^{かん}じ^られる^{こと}に^いなる^{こと}種^{かた}であり、皆さんのこの先の^{せいこう}成功^{せいこう}へとつながります。皆さんは、これから。どうの^いあきらめず、自分で^い限界^{げんがい}を決^きめて^{こと}は^いわ^す、自分に決^きして負けない強い^い明るい^{こと}心^{こゝろ}で新しい年^{とし}を迎^{むか}えよう。玉舞^{たま}み^まき^舞今年も一年本当にありがとうございました。心からの感謝^{かんしゃ}を込^こめまして...